

【情報公開文書(オプアウト文書)】

当法医学教室で法医解剖を受けられた方のご遺族の方へ 研究協力のお願について

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の相談窓口へお問い合わせ下さい。ご連絡がない場合においては、ご了承をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、この研究は、倫理審査委員会の審査を受け、研究責任者の所属機関の長の承認を得て行っているものです。

1. 研究の対象

1924 年 3 月 1 日～2024 年 12 月 31 日までに、当法医学教室で法医解剖の対象となられた方

2. 研究の概要

研究課題名	法医学教育のための事例データベースの構築に関する研究
研究期間	2023 年 11 月 15 日 ～ 2026 年 3 月 31 日
目標数	250 例（金沢大学：250 例）

法医学教室では、裁判所や警察、行政の依頼に基づき、法医解剖の対象となられた方のお亡くなりになられるまでの経緯や、死因を調べる「死後診察」を行っており、最終的に「鑑定書（或いは報告書）」にまとめています。

本研究は、次代の法医学者や法医学関連人材の育成のため、当教室で

長年にわたり作成されてきた鑑定書を、個人情報や司法情報の取り扱いに適切な配慮を行った上で、データベースとして集積し、法医学教材として活用するための研究を行います。死因究明はもとより、虐待等の増加により法医学者による生体鑑定への社会的要請も高まっており、実践的な情報により多く触れた次代の法医学者や法医学関連人材の育成を推進することで、より多くの社会貢献を目指します。

3. 研究の目的・方法について

この研究では、死因別の基本的な症例に加え、特に近年社会的要請が高い「虐待や多数の外傷がみられた症例」、「嬰兒や乳幼児の症例」、「感染症に関する症例」、「薬物中毒に関する症例」に着目し、鑑定書を法医学教材とするための適切な情報の取り扱い方法・加工方法について検討します。さらにその教育効果や、時代と共に変化する法医学鑑定の変遷について研究します。

具体的には、個人情報削除した上で、教材の使用方法に応じて情報の組み替えといった加工を行い、司法関連機関の意見を踏まえて教育用教材としてデータベースに収載します。データベースを用いた教育の前後で、アンケートや学習成績で教材の学習効果への影響を調べるほか、教材作成法などを検証します。また、当教室で約100年前から行われてきた法医鑑定について、現代のものと比較し、その歴史的変遷を調査します。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

鑑定書情報の中から、個人を特定せず、司法関連情報の取り扱いに反しない範囲で、以下の情報を使用します。

情報 対象者の年代・性別・死因・死因の細分類・死因に関連する生活上の情報、死因を決定した「観察事項」（外表・内景・組織顕微鏡像，血液生化学分析項目，発見時の環境，発見状況の中で死因究明に関連した情報），虐待や生活に関連した外傷の画像および記述記録，嬰兒・乳幼児の死因究明に要した「観察事項」，感染症に関連する症例の情報および「観察事項」，薬物中毒症例に関する「観察事項」

5. 外部への試料・情報の提供・公表

本研究に使用する，鑑定書（或いは報告書）からの抽出情報は，金沢大学・秋田大学・金沢医科大学が連携し，文部科学省の支援を受け令和4年度から開講している大学院/社会人教育プログラムで，法医学教育を受ける受講生，およびその教育関係者に公開されるデータベースに記載されます。公開範囲は限定されており，アクセスログを管理し，情報セキュリティを考慮した取扱いがなされるシステムです。

また，研究の結果，統計情報などの形で，学会などで成果発表を行う場合があります。この際も，個人が判明する形での個別情報の開示はありません。

6. プライバシーの保護について

この研究にご参加いただいた場合，教育データベースに記載された情報は個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されます。記号化した番号は，単独で個人を特定できるものではありません。また，元の鑑定書との対応表は，別途施錠可能な保管庫にて保存されます。管理情報を連結し個人情報外部に漏れることがないように，厳重に管理致します。

この研究で得られた結果は，学会や医学雑誌等に発表されることがあります。このような場合，お亡くなりになられた方の個人情報など，プライバシーに関するものが公表されることは一切ありません。

7. 研究組織

(1) 金沢大学における研究実施体制

研究責任者 金沢大学医薬保健研究域医学系法医学 塚 正彦

研究分担者 金沢大学医薬保健研究域医学系法医学 緒方 佳代子

研究分担者 金沢大学医薬保健研究域医学系法医学 増田 浩子

8. 本研究に係る資金ならびに利益相反について

この研究は大学の運営費を用いて行われます。また，この研究の研究担当者は，この研究において企業等との間に利害関係はありません。この研究の研究担当者は，金沢大学または各研究機関の規定に基づく利益相反審査機関へ自己申告し，その審査と承認を得ています。従って，この研究の研究担当者は，この研究の実施の際に個人的な利益のために専門的な判断を曲げるようなことは一切いたしません。

9. 研究への不参加の自由について

対象となられた方のご遺族の方で、情報を本研究に用いることに同意できない場合は、下記の問い合わせ先までお申し出ください。原則として結果の公開前であれば情報の削除などを行い、研究対象と致しません。教育データベースへの収載を取りやめ、情報を削除致します。既に研究結果が医学雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

10. 研究に関する窓口

研究対象者のご遺族の方で、この研究に関するご質問等がございましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができます。但し、法医解剖に関する鑑定書（或いは報告書）を公開することはありません。

研究責任者 金沢大学医薬保健研究域医学系法医学 塚 正彦

相談窓口担当者 金沢大学 医薬保健研究域 医学系 法医学 塚 正彦

住所 〒920-8640 金沢市宝町 13 番 1 号

電話 076-265-2223